

科目名	くすり最前線 -最新医療から薬物問題まで-		
科目番号	A-10	開設大学名	長崎国際大学
開講場所	アルカスSASEBO 3階会議室	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	平成29年9月22日(金)～ ～平成30年1月19日(金)	曜日	金曜日
		時限	6時限目
開講時間	19時00分～20時30分(90分) 「毎週 金曜日」	授業定員	90人
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	11月3日(金)・12月15日(金)・29日(金)を除く	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 9月22日	がん —抗癌剤治療の進歩と現状—	小川由起子 微生物薬品学
② 9月29日	がん —プレジジョンメディスン:オーダーメイド医療が現実のもの—	和田守正 分子生物学
③ 10月6日	エイズ —AIDSは完治できるのか—	深澤昌史 ウイルス学
④ 10月13日	自己免疫性疾患 —免疫システムの反乱—	岸原健二 免疫学
⑤ 10月20日	薬剤耐性菌 —くすりが効かない恐怖—	黒川健児 細胞生物薬学
⑥ 10月27日	寄生虫にまつわるエトセトラ —今、なぜ寄生虫が注目される?—	小林秀光 微生物学
⑦ 11月10日	放射線って怖いですか? —放射線災害と医療被曝について—	高井伸彦 薬品分析化学
⑧ 11月17日	エコミークラス症候群 —血液検査でわかる血栓症体質—	隈博幸 臨床検査学
⑨ 11月24日	ヒト常在菌のパワー —美と健康を保つヒトと共棲する菌—	榊原隆三 生化学
⑩ 12月1日	「トクホ」って何だろう? —特定保健用食品と医薬品の違い—	長岡寛明 衛生化学
⑪ 12月8日	香りの化学 —においがもたらす影響について—	佐藤博 環境毒性学
⑫ 12月22日	天然物からの創薬 —新薬開発への挑戦—	宇都拓洋 薬品資源学
⑬ 1月5日	痛い痛い飛んで行け! —「熱冷まし・痛み止め」の効く仕組み—	山口拓 薬物治療学
⑭ 1月12日	薬物乱用の危険性 —危険ドラッグの何が危険なのか?—	山本経之 薬理学
⑮ 1月19日	スポーツファーマシスト —薬剤師のアンチ・ドーピング活動—	仮屋菌博子 医療薬学

連絡先	長崎国際大学 教務課 TEL 0956-39-2020
<p>(科目内容) 現代産業における医薬関連分野の進歩は、情報技術(IT)関連分野と並んで著しいものがある。かつての”不治の病”も、その多くが克服されようとしている。最新の医療にとって欠かせない道具として医薬品がある。「医薬品」とは厚生省から承認された治療薬、診断薬及び予防薬に他ならない。それでは、「薬物」という言葉はどうだろう。「～依存」や「～汚染」、麻薬・覚醒剤、ドーピング等、負のイメージを想起することも少なくない。一般社会においては、有益な治療薬も有害な覚醒剤も「くすり」と呼ばれることが多い。本講義では、このような「くすり」に機能食品や医薬部外品等も加え、人の健康にまつわる最新情報について分かり易く解説する。これらの情報をもとに、受講生は自らの健康について強く意識すると共に、医療に関する社会問題等について深く考察することができる。</p>	

学生の感想・  
教員のコメント等

本講義は、くすりの最新情報について、薬学部の専任教員が分かり易く講義します。薬学に興味のある方は是非受講してみてください。

